



2024年の主な収集資料

しゅうしゅうしりょう



殻長 50 cm のイノセラムス・アマクセンシス

イノセラムス・アマクセンシス *Inoceramus amakusensis* は大型になることが知られるイノセラムス科二枚貝です。50 cm より大きい標本もあるかもしれませんが、周囲の岩石が柔らかく、殻が崩れてうまく採集できないことが多いように思えます。2024年に採集した標本は大きくて保存が良く、展示にも適しています。また、転石ではなく地層から採集したので、地層の時代が明らかになった（白亜紀サントニアン期）という調査・研究面でも重要です。



直径 40 cm のアンモナイト ユウパキディスクス

大型のアンモナイト (*Eupachydiscus*) は1点採集されました。リュックにちょうど入ったので、一人で持ち帰りました。近年は大型アンモナイトが複数採集されていました（ホッピーだより No. [450](#)、[461](#)、[468](#)、[469](#)）ので、今年は“不漁”のようにも思われるかもしれませんが、そもそも大型のアンモナイトが1年に複数個も採集されることが稀です。

学芸員 西村智弘

ほべつ 穂別博物館リニューアルへ (6)



10月5日の様子



10月14日の様子

8月末から新博物館・温浴カフェの建設工事が始まっています。

現在は新博物館・温浴カフェ建物の基礎の製作；杭打ちやコンクリートの流し込みが進められています。

AOAO SAPPORO で モササウルス類フォスフォロサウルスの展示

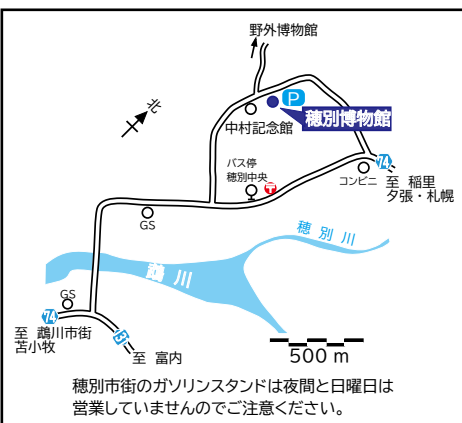


穂別博物館から出展しているフォスフォロサウルスのレプリカ



展示の様子。奥に展示されているがデスマスチルスとヌマタネズミイルカ。

札幌の水族館 AOAO SAPPORO (<https://aoao-sapporo.blue/>) で古生物・化石に関する企画展示が12月8日まで開かれています。この中で穂別博物館からはモササウルス類のフォスフォロサウルスのレプリカが出展されています。この展示では北海道恐竜・化石ネットワーク研究会に参加している各施設から化石やレプリカが出展されていて、サッポロカイギュウやヌマタネズミイルカ、デスマスチルスをはじめとした全身復元骨格や北海道内の様々な化石が展示されています。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300円	100円
団体 (10名様以上)	200円	50円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2024年 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	②③
24	25	26	27	28	29	30

2024年 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日 町民無料観覧日